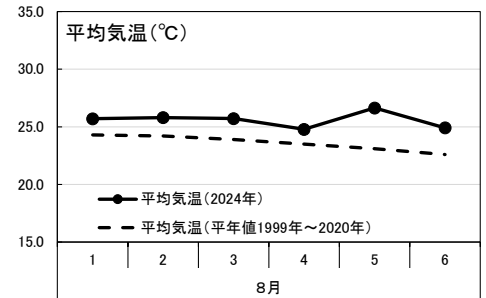


農作物の生育と作業の進捗状況（9月1日現在）

地域農林水産部

1 気象（弘前アメダス）

- ① 8月の平均気温は、25.6℃で平年より2.1℃高かった。
また、真夏日を観測した日は17日あった。
- ② 降水量及び日照時間は、平年の約79%及び約82%であった。



2 生育状況

(1) 水稲

- ① 出穂最盛期は7月30日で、平年より4日早かった。
- ② 登熟期間の気温が、平年を2℃程度上回ったことから、出穂後積算気温による刈取始期到達日は、平年より3日程度早い見込みであり、「青天の霹靂」（拠点ほ4か所の平均）は9月4日頃、「まっしぐら」は9月5日頃、「はれわたり」は9月10日頃となっている。

(2) りんご

- ① 「ふじ」の9月1日現在の果実横径（弘前市独弧）は8.3cmで、平年（7.6cm）を上回っている。
- ② 枝腐らんが散見されており、褐斑病が一部の園地で見られている。また、一部の園地で、モモシンクイガやカイガラムシ類による果実被害が見られている。
- ③ 「つがる」の着色管理作業は終盤である。「つがる」に若干日焼け果が見られている。

(3) もも

- ① 「川中島白桃」の8月21日現在の果実横径（平川市沖館）は9.2cmで、平年（7.4cm）を上回っている。
- ② 主力品種「川中島白桃」の収穫は平年より7日早い8月25日頃であった。

(4) 夏秋トマト、ミニトマト

- ① 日中の高温や曇天の影響により、葉先枯れや落花、裂果、尻腐果が見られている。
- ② 病害虫は、灰色かび病のほか一部でオオタバコガやトマトキバガの食害が見られている。

(5) 高冷地野菜

- ① 嶽きみは高温の影響で生育が進んでいることから、平年並から数日収穫が早まっており、9月中旬まで収穫作業が行われる見込みである。オオタバコガなどの害虫被害がやや見られている。
- ② だいこん（県生育観測ほ（平川市））の8月26日現在の生育は、根長、根重が平年を下回り、収穫までの日数が2～3日遅れている。病害虫では一部でコナガ、軟腐病が見られている。
- ③ にんじん（県生育観測ほ（平川市））の8月10日現在の生育は、平年をやや下回っている。収穫は、計画通り9月中旬から始まる見込みである。

(6) 大豆

- ① 管内のほ場では、莢（さや）が形成されている。
- ② 県生育観測ほ（藤崎町中野目）の8月10日現在の生育は、平年と比べ、草丈が104.7cm（平年87.7cm）で長く、葉数が14.9枚（平年13.1枚）で多かった。
- ③ べと病が目立つほ場もあるが、生育に大きな影響は見られていない。